

1.7GHz帯W-CDMA方式の実験局免許を申請

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、1.7GHz帯の周波数における第3世代携帯電話(3G)サービスの提供を目指し、本日、同帯域でのW-CDMA方式によるフィールド試験用無線局の免許を総務省に申請しました。なお、1.7GHz帯の実験局免許の申請は、3Gサービスを提供している国内の携帯電話事業者として初めてとなります。

現在、ボーダフォンでは3Gサービスを2GHz帯の周波数で提供しておりますが、3Gサービス契約数の増加や、パケット通信料定額サービスなどにより、今後ますます3Gサービスのトラフィック増加が予想されます。現在使用している2GHz帯の周波数だけでは不足してしまうことが懸念されるため、将来の商用化を目指し、実験局免許を申請しました。

実験局免許取得後は、1.7GHz帯における電波伝搬特性やビルなどの建築物による遮へいの影響、ビル内への透過損失の測定などのフィールド試験を、千葉県内にて約6か月間実施する予定です。

なお、1.7GHz帯の周波数は、情報通信審議会(総務大臣の諮問機関)の「携帯電話等周波数有効利用方策委員会」において、IMT-2000方式 導入のための技術的条件が検討されている周波数帯です。

W-CDMA方式およびcdma2000方式

以上

- Vodafone およびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは、世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。